



## WORLD

### 紀元前1世紀

古代ローマ、インストラ  
都市化の進展により、住宅  
需要が高まって、都心も郊  
外も土地が高騰した。結果  
として一戸建ての邸宅であ  
るドムスは上流階級でなけ  
れば持てなくなった。そのた  
め市内に住む住民の多くが  
インストラと呼ばれるアパー  
トに住んだ。

### 13世紀

中国、福建土楼  
外部立ち入り禁止の大きな  
建物で、長方形か円形をし  
ており、厚い土壁と木の骨  
格から成り、高さは3階か5  
階、80家族以上が生活して  
いる。この土でできた建物は  
通常1つの入口しか持た  
ず。

### 1902-1904年

フランス、パリ  
フランクリン通りアパート  
20世紀の標準的な鉄筋コ  
ンクリート構造

### 1927年

ドイツ、ヴァイセンホーフ・  
ジードルング  
ドイツ工作連盟主催の住  
宅展覧会で、シュトゥットガ  
ルト郊外ヴァイセンホーフ  
の丘に建設された実験住  
宅群である。ドイツを中心  
に17人の建築家が参加し  
、モダニズム建築の実践の  
場となった。

### 1930年

『輝く都市』  
ル・コルビュジエ  
高層ビルを建設してオーブ  
ンスペースを確保し、街路  
を整備して歩車分離。それ  
に基づき都市問題の解決  
を図ろうと提唱している。

### 1929-1931年

ドイツ、ベルリン  
ジーマンスシュタットの街  
区計画および住宅設計  
低所得者層に関する生活  
環境改善というニーズが  
背景、新しい建材やデザイ  
ンによって衛生的で快適  
な住宅作り。

### 1952年

ドイツ、ベルリン  
ユニテ・ダビタシオン  
ル・コルビュジエ  
輝く都市に代表される都  
市計画案を、集合住宅とし  
て垂直方向に実現したと  
もいえる建築作品。

### 1960年代

旧ソ連  
フルシチョフカ  
低コストで、パネル工法  
3階から5階建て  
成熟した共産主義によって  
住宅不足が軽減されるま  
での、一時的な住宅である  
と考えられていた。

### 1972年

オランダ  
セントラール・ビビア  
ヘルマン・ヘルツベルハー  
構造主義  
4つの象限で構成され、中  
央の2つの「通り」が建物の  
社会的な中心を形成  
9メートルの立方体という  
基本要素を一貫して反復・  
調整すること

### 1980年代

脱構築主義  
破片のような建築物の形状  
、設計過程における非線形  
な手法、建築物の表層・表  
皮に対する興味、構造や覆  
いといった建築の要素に歪  
みや混乱を起こす非ユーク  
リッド幾何学的应用  
代表：  
ピーター・アイゼンマン IBA  
SOCIAL HOUSING

### 2003年

オランダ、アムステルダム  
Silodam(シロダム)  
MVRDV  
住宅不足・土地不足問題を  
解決する試みとしてスタート  
したプロジェクトの1つで、高  
密度な都市部に新たな居住  
空間を設けるために住宅を  
ウォーターフロントへと移行  
してみようと建てられた集合  
住宅。



## JAPAN

### 1916年 大正5年

長崎県長崎市軍艦島  
30号棟グラバーハウス  
日本で最初の鉄筋コンクリ  
ート造の鉱員社宅として建  
設された集合住宅  
1918年(大正7年)「日給  
社宅」続いて建てられた

### 1923年 大正12年

同潤会  
関東大震災の復興支援  
のために設立された団体  
同潤会アパートは耐震・  
耐火の鉄筋コンクリート  
構造で建設され、当時と  
しては先進的な設計や装  
備がなされていた。  
代表：青山アパートメント  
(当時最高級アパート)

### 1955年 昭和30年

日本住宅公団  
都市人口流入のため、主  
として都市近郊に土地開  
発し住宅建築を行った。  
大規模団地では中心部に  
商店、銀行、郵便局など生  
活に必要な施設を置き、  
団地内で生活の用が足り  
るようになっていく。水洗  
トイレ、風呂、ダイニングキ  
ッチン、ベランダなどを取  
り入れ、近代的なものとし  
て憧れの住宅だった。

### 1957年 昭和32年

東京都中央区  
晴海高層アパート  
前川國男  
ル・コルビュジエによる同  
時期に計画・建設されたユ  
ニテ・ダビタシオンを強く  
意識した設計が各所に取  
り込まれていた。特徴的な  
外観や各所の意匠、公団  
住宅としては初となるエレ  
ベーターの導入、スキップ  
フロア方式の採用などが  
試みられ、中層住宅と同じ  
コストで高層住宅を実現  
するということがテーマで  
あった。

### 1964年 昭和39年

岐阜県営住宅  
ハイタウン北方  
妹島和世、高橋晶子、エ  
リザベス・ディラー、クリ  
スティン・ホーリー  
老朽化した県営住宅の建  
て替え  
外観はパンチングメタルを  
使用し、統一感が感じられ  
ますが、それぞれに特徴を  
持った建物として独立もし  
ておる。

### 1969年 昭和44年

神奈川県横浜市  
桜台コートビレジ  
内井昭蔵  
集合住宅、商業、公共機能  
などを複合した施設として  
設計された。

### 1972年 昭和47年

東京都中央区  
中銀カプセルタワービル  
黒川紀章、松井源吾  
世界で初めて実用化され  
たカプセル型の集合住宅  
である。鳥の巣箱や洗濯機  
を積み重ねたような特異  
な外観を持ち、ユニット製  
のマンションで、事務所と  
しての利用も可能だった。  
ダイレクトの表現、メタボリ  
ズムの設計思想

### 1975年 昭和50年

大阪府  
『都住創』  
「都市住宅を自分達の手  
で創る」ことを目的に、  
1975年に発足した集団  
である。「都市に住む」「共  
同建設を行う」「住居の質  
を高める」という三つの目  
標を掲げ、大阪の都心部  
において共同住宅の申し  
いビルディングタイプを開  
発する努力が続けられた。

### 1978-1993年 昭和53-平成5年

兵庫県神戸市  
六甲の集合住宅  
安藤忠雄  
規則的な格子状の空間構  
成の中にテラスや中庭的な  
空間を配置して、自然や眺  
望を活かした住戸を創出し  
ています。建物内部は、それ  
ぞれに個性をもたせた各住  
戸が、小広場や階段といっ  
た路地的な共用空間によ  
って緊密に結び付けられ  
ておる。

### 1978年 昭和53年

広島県広島市  
市営基町高層アパート  
基町不良住宅街(原爆スラ  
ム)解消を目的に造成され  
た  
アパートを造成し緑地帯  
を創り出す、ル・コルビュ  
ジエのユニテ・ダビタシ  
オンの影響を強く受けてい  
る建物の構造は、地中構造  
物は鉄骨鉄筋コンクリート  
構造、基礎および奇数階  
は鉄筋コンクリート、偶数  
階は鉄骨構造になっている

### 2003-2005年 平成15-17年

東京都江東区  
東雲キャナルコート  
CODAN  
山本理顕、伊東豊雄、隈研  
吾  
新たなまちづくり  
居住と仕事共存する空間  
、住んでいる人の個性  
が外部にあふれ出る街、多  
様な家族が住む街、魅力  
的なお店が連なる街路



# 先行研究

## 事例調査



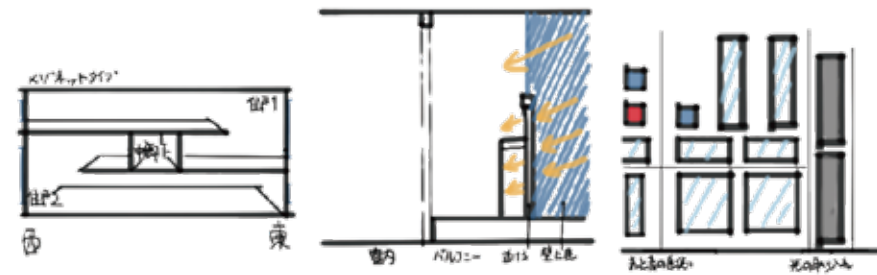
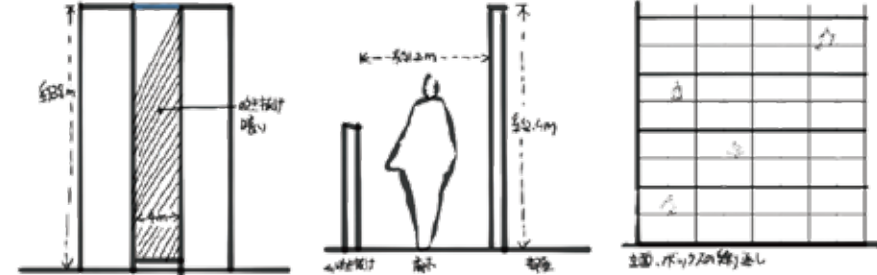
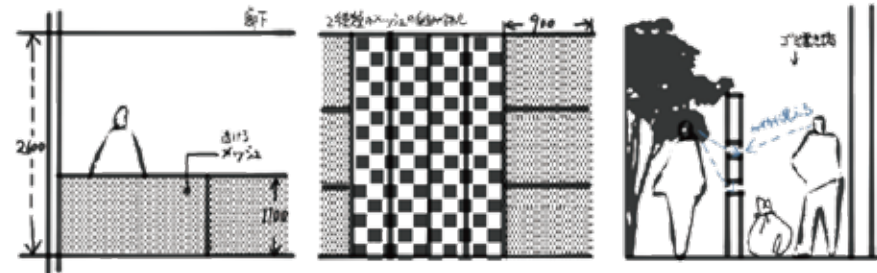
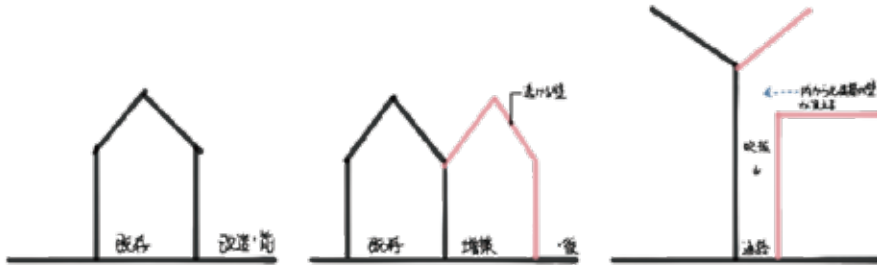
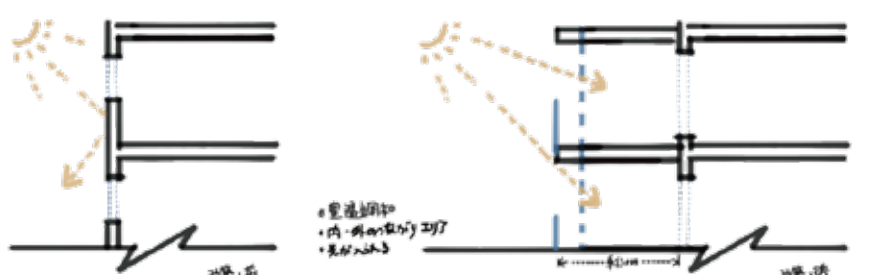
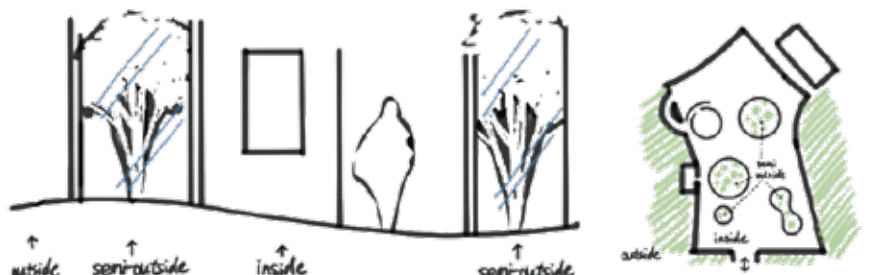
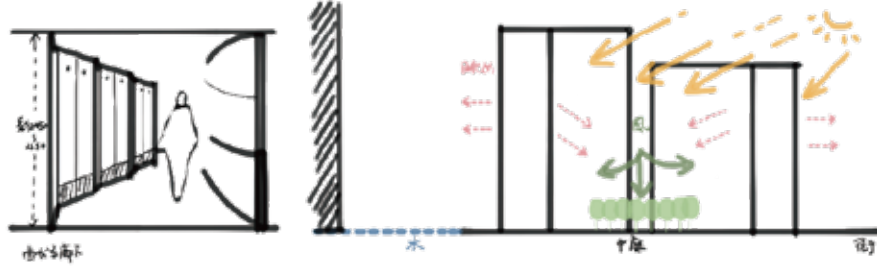
赤羽台団地



豊島区五丁目団地



ユニテ・ダビタシオン



東雲キャナルマークス



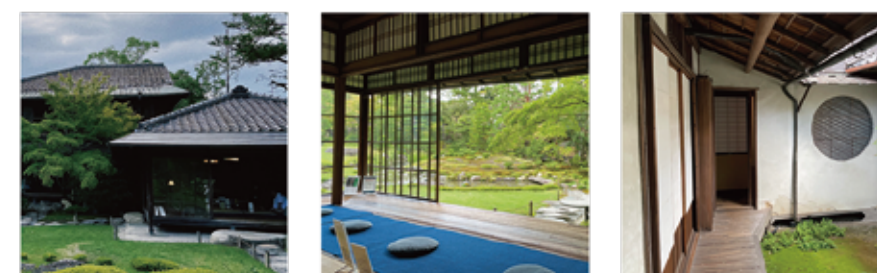
千住博軽井沢美術館



グランパルク



FRACノール・パド・カレー



無郷菴

# 仮説

空間をキューブにし、ムーブによる不規則なパズルへ変化、パズルはえんがわとしてランダムでつなげ、生まれた不規則な空間を居住空間へ。

## 動機つけ

①今の集合住宅が閉鎖、単一

②若者に注目

③若者へのプレッシャー

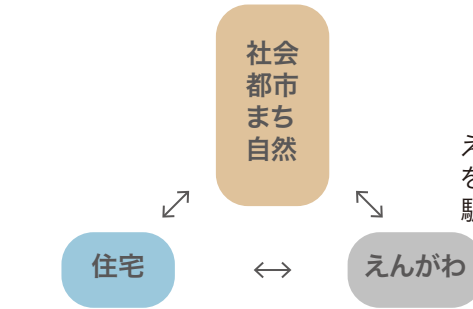
東京、上海などの大都市の継続的發展で、ほとんどの集合住宅は高層化になっている。大量の人口流入により、大都市における住宅不足が発生した。その結果、ほとんどの集合住宅は高層化、高密度化されている。集合住宅のデザインに関して他にも、中国はソビエト連邦の影響を受けており20世紀50・60年代からソビエト連邦の閉鎖型の集合住宅が標準的な中国の住宅となっていた。その上、この影響は現在まで継続していると言える。

近年のコロナ禍で外出を控えるようになってい。若い世代が他者、自然との接触が減りつつ、集合住宅の閉鎖空間に一人で閉じ込められている。私と周りの知り合いたちは、一人の時、時々寂しさ・鬱・悲しみなど気持ちを感じられる。その時は、他人・動物・自然と交流したい気持ちが強くなってきた。閉鎖された空間に一人で閉じ込められたまま外部と直接交流しないことは、精神状態に影響を及ぼす可能性があるかと考える。

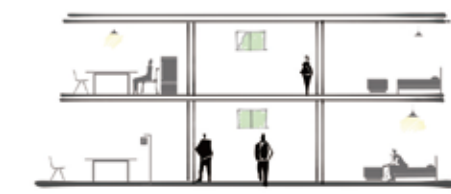
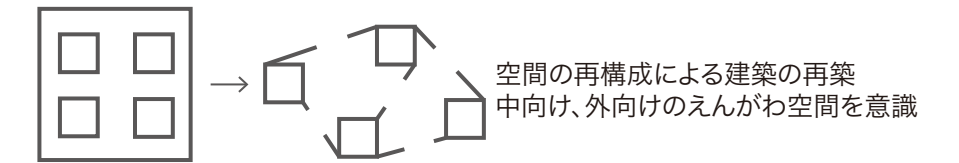
消費税、物価が上がる一方、給料が増えていない、さらにリストラで仕事を失う可能性もある。職場、社会からのストレスで、都市で生活する若年層は激しいプレッシャーにさらされた生活状態の下、易刺激性・易怒性が高くなったり鬱病を発症し、現代社会の一つの問題となる。消費税、物価が上がると都市生活が窮屈になってしまい、経済も未来も不安定な状況で、若い世代のプレッシャーが激しくなると考える。

④日本のえんがわを接触

## コンセプト



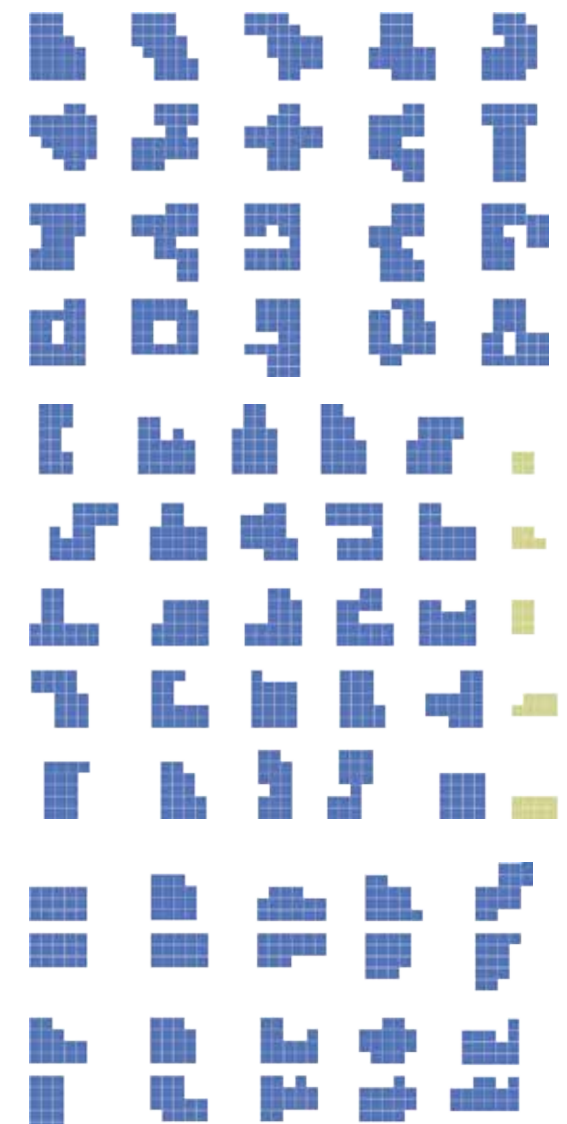
えんがわにより住環境とまち・自然などを繋げることで、若者がより早く社会に馴染むようになることを期待する



現在  
居住空間と共有スペースが分断され  
隣居とのコミュニティが少ない  
空間多様性低い



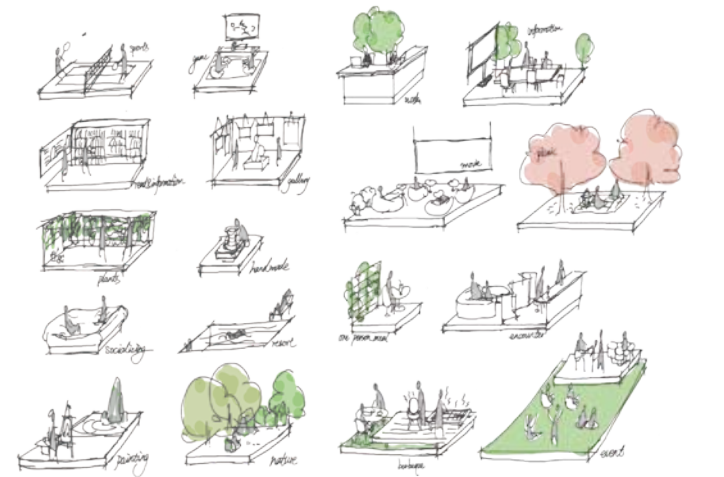
提案  
多様な機能をもつえんがわ空間  
隣居との距離が縮める  
自然導入による心癒し



空間をキューブにし、ムーブによる不規則なパズルへ変化  
パズルはえんがわとして意図的に繋げて



前期・えんがわ空間の形の試し

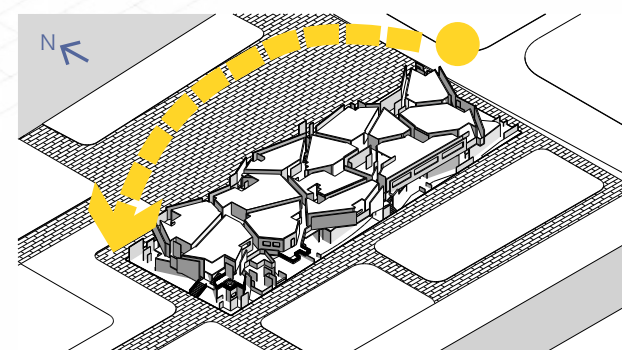
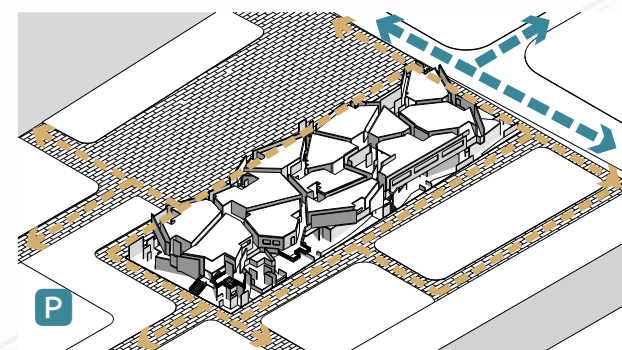
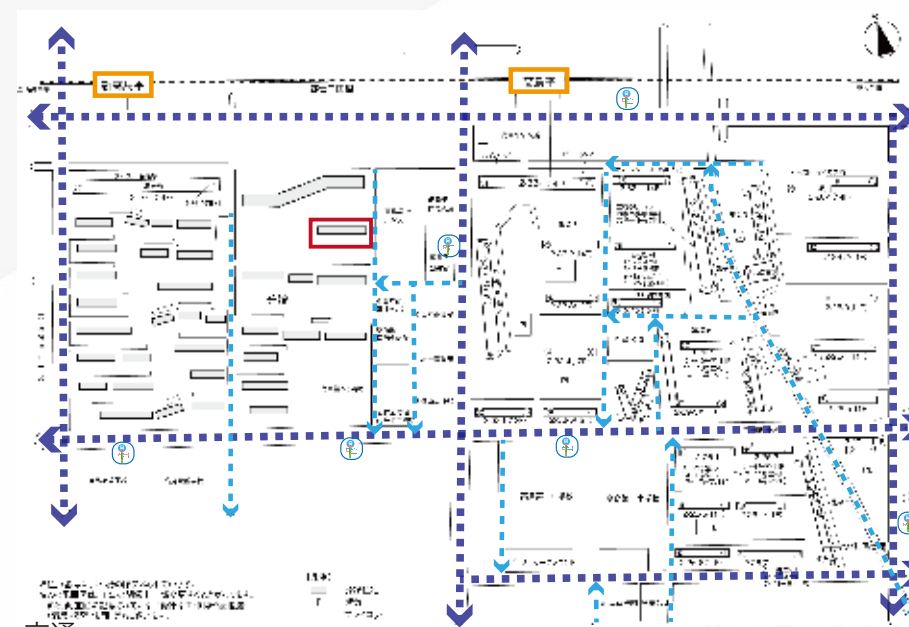
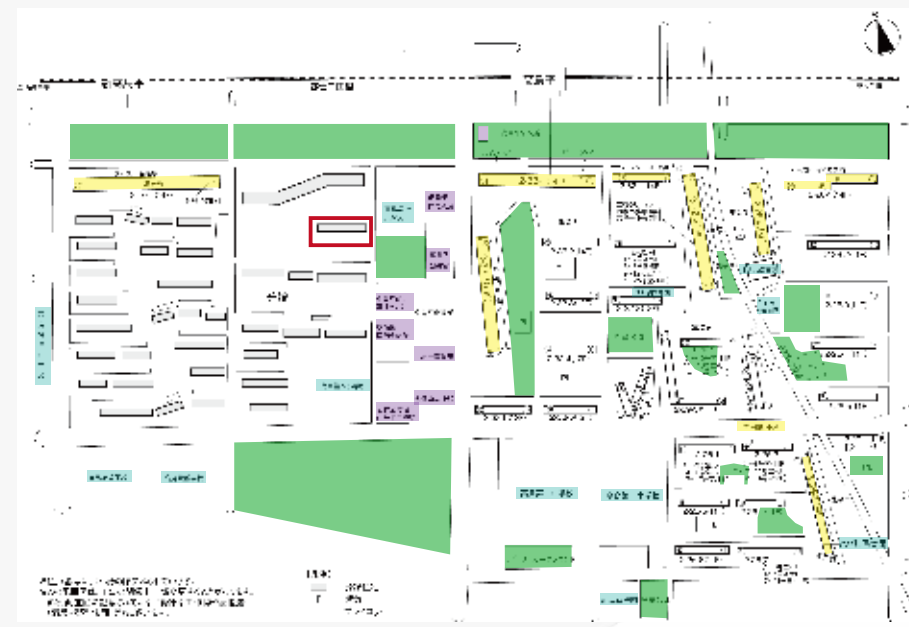


パズルえんがわ空間は映画放映、カフェ、食事する場所、趣味行方場所、ピクニック、遊び場所、緑豊かな場所、出会いやチャットする場所、情報交換などとしての使いを想像



# 敷地分析

都営みだ線の高島平駅・新高島平駅すぐにある高島平団地は、昭和40年代につくられたマンモス団地の中で最も都心に近い団地である。二丁目が賃貸、3丁目分譲である。就学前教育機関、小中高等学校が整備されていて、図書館・警察署・消防署・役所・病院、さらに、商業施設やスポーツなどの施設も整備された。現在では、高島平団地における少子高齢化問題が顕著となっている。一方、15歳未満の子供の割合が住民全体の5.0%に過ぎない。さらには独居どっきよ世帯が多く、55歳以上の調査で一人暮らしの割合が53.2%となっている。世帯数は8,500世帯以上であり、空室が目立ってきている。そのため、若年層世帯の獲得に向けたリノベーションや高齢者が住みやすい環境を整える対策が急がれている。























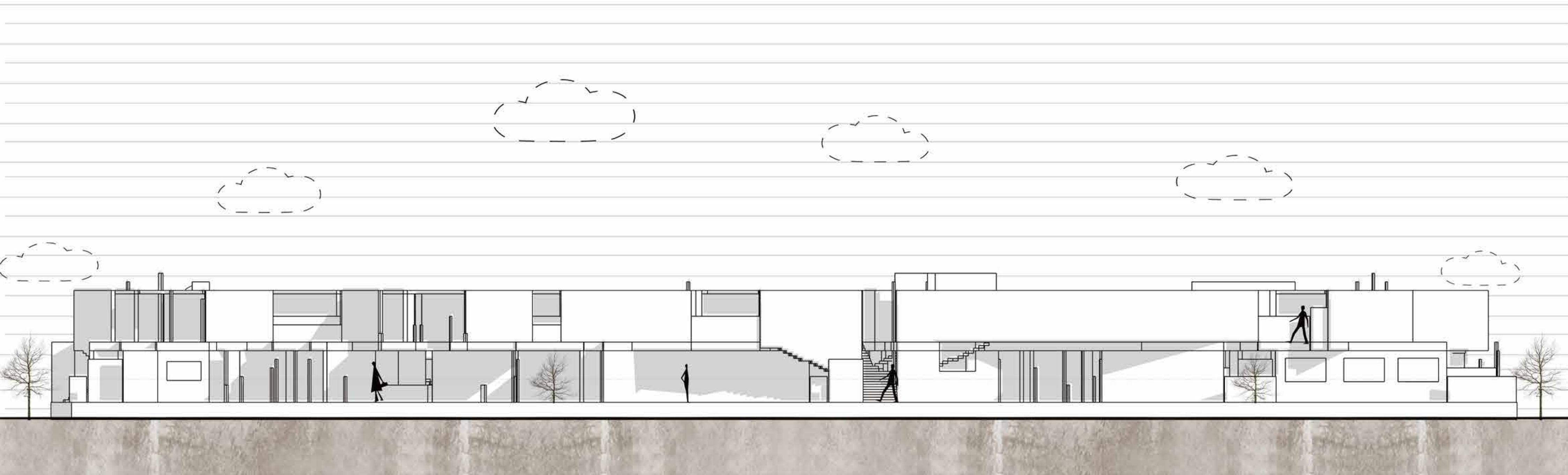










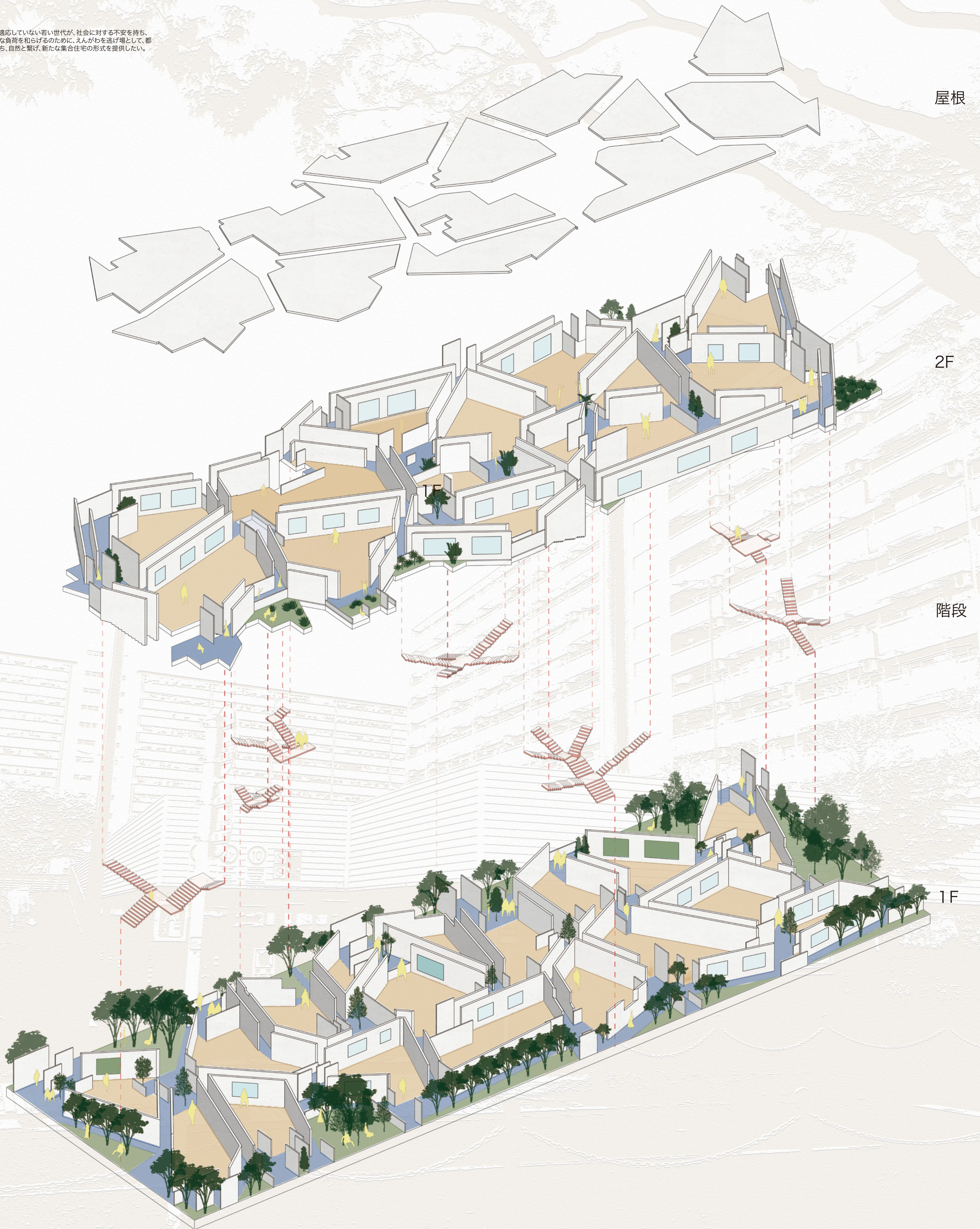




# アクソノメトリック

## 目的

まだ社会に適応していない若い世代が、社会に対する不安を持ち、彼ら精神的な負荷を和らげるために、えんがわを逃げ場として、都市、社会、まち、自然と繋げ、新たな集合住宅の形式を提供したい。



プラン 1:300

